

源氏の棟梁 源義家を祀る

# 平塚神社

御祭神

八幡太郎 源義家命

平安後期の武將で、源頼朝・義経や足利將軍家の先祖。石清水八幡宮で元服したので八幡太郎と号された。前九年の役(安倍貞任・宗任退治)、後三年の役をはじめ数々の戦を征された。「天下第一武勇之士」と称えられ、全国の武士達が臣従した。その武威は物の怪ですら退散させたといわれ、義家公の弓矢は魔除け・病除けとして白河上皇に献上された。

賀茂次郎 源義綱命

義家公の次弟。賀茂神社で元服したので賀茂次郎と号された。

新羅三郎 源義光命

義家公の三弟で武田氏、佐竹氏、小笠原氏の先祖。新羅明神で元服したので新羅三郎と号された。笹の名手としても有名。

御神徳

立身出世 (就職 昇進 事業繁栄) 勝ち運 騎馬上達(交通安全) 武芸(スポーツ)上達

病或平癒 閑運厄除 魔除け 心願成就

その他

## 略 縁 起

平塚神社の創立は平安後期 元永年中といわれている。八幡太郎源義家公が奥州征伐の凱旋途中にこの地を訪れ、領主の豊島太郎近義に鎧一領を下賜された。近義は拝領した鎧を清浄な地に埋め塚を築き自分の城の鎮守とした。塚は甲冑塚とよばれ、高さがないために平塚ともよばれた。さらに近義は社殿を建てて義家・義綱・義光の三兄弟を平塚三所大明神として祀り一族の繁栄を願った。

徳川の時代に、平塚郷の惣官の盲者であつた山川城官貞久は平塚明神に出世祈願をして江戸へ出たところ桜枝という高い地位を得、將軍徳川家光の近習となり立身出世を果たした。その後家光が病に倒れた際も山川城官は平塚明神に家光の病氣平癒を祈願した。將軍の病氣はたちどころに快癒し、神恩に感謝した山川城官は平塚明神社を修復した。家光も五十石の朱印地を平塚明神に寄進し、自らもたびたび参詣に訪れた。

## 主な祭日・行事

|     |          |     |       |    |               |     |          |
|-----|----------|-----|-------|----|---------------|-----|----------|
| 大祭  | 九月十四日・五日 | 中祭  | 五月十五日 | 小祭 | 一月十五日         | 月次祭 | 毎月一日・十五日 |
| 歳旦祭 | 一月元日     | 節分祭 | 二月三日  | 大祓 | 六月三十日・十二月三十一日 |     |          |

厄祓 病氣平癒祈願 就職祈願 合格祈願 車両祓い 初宮参り 七五三参り  
 地鎮祭 上棟祭 神棚祓い 事務所開き 家・部屋の清め祓い その他、諸祈願いたします。  
 神棚の祭り方や御守りのこととわからないことがある方は社務所までお気軽にお問い合わせ下さい。

平塚神社社務所 〒114-0016 東京都北区上中里一丁目四十七番地一号

電 話 〇三(三九一〇)二八六〇

ファックス 〇三(三九一七)八三八九

URL <http://www.hiratsuka-jinja.or.jp>